

あきやま子どもクリニックニュース2016年7月号



先月、公益社団法人日本小児保健協会の会長に就任しました。子どもたちの健康を守るために、医療・保健・福祉・教育の多職種4000人の会員が集う団体です。少し忙しくなりますが、社会的立場から子どもたちのために取組たいと思います。よろしくお願ひします。

院長より



「指しゃぶり」

指しゃぶりは、子どもによくみられる行動です。発生頻度は、1歳半の子どものおよそ30%、3歳児のおよそ20%、5歳児のおよそ10%とされ、アメリカ⁴⁾では2歳児の45%、5歳児の21%、11歳児の5%に認められ、日本より高くなっています。ほとんどの例で大きな問題になることはなく、基本的には発達の過程で一過性にみられる生理的な行動で、遺伝や家族性はなく成因に一定の見解ありません。そこで、養育者はあまり過剰な心配をせず無理に禁止しないほうがよいといわれています。

一方、小児歯科医の間では、歯並び(歯列)や、上顎前突(出っ歯)から舌を閉じにくくなり常に口を開けている癖がついてしまったり、開咬(上下の前歯の間に隙間があく)から舌癖(その隙間に舌を押し込んだり、飲み込む時に舌で歯を強く押し出すような癖)が生じたりして、構音が不明瞭になることが報告されています。そこで、4歳を過ぎた例では指導したほうがよいという意見が多いようです。

指しゃぶりを見たら、注意するのではなく、さりげなく本やおもちゃを渡して、指しゃぶりの機会を少なくしてみましょう。



病児保育室便り

あきやまルームは生後4か月から小学3年生までのお子さんが利用できます。そのため、時には同じ部屋で遊ぶことが難しくなります。小さいお子さんは、大きいお子さんがやっていることに興味があり、近づいていき、手を伸ばして物をとろうとします。そうすると、大きいお子さんがゆっくり遊べなくなります。そこで、部屋を分けますが、小さいお子さんと遊びたい大きなお子さんもいるので、自由に行き来できるように設定します。

慣れない環境でも、落ち着いて1日が過ごせるように心がけています。

(文責 千葉美香)

最近の流行っている病気

突然の高熱が4～5日続く風邪があります。また、嘔吐・下痢の急性胃腸炎、咳がひどいマイコプラズマ感染症もあります。結膜炎をおこすアデノウイルスもみられています。

感染症として、水痘、突発性発疹、溶連菌感染症、流行性耳下腺炎があります。

訪問看護ステーション

先日、重症児の呼吸理学療法について研修へ参加してきました。

どのような姿勢になったら、呼吸が楽にできるのか、楽な姿勢でいられるのか、実技を通して学んできました。緊張が強い児を真似て、体を突っ張った状態を体験しました。背中や首の筋肉の痛みを強く感じ、呼吸もしづらい状態です。タオルなどで体を支え、整えることで、痛みがなくなり、呼吸もしやすくなりました。姿勢の工夫次第で日々を快適に過ごせるかどうか、とても大切になってくるのだと思います。

(文責 梅田可愛)



今月の代診と休診

1日(金)	早朝診療	西堀先生
	午前・午後診療	宗像先生
6日(水)	午後診療	宗像先生
7日(木)	午前診療	秋山先生
	午後診療	宗像先生
8日(金)	午後診療	宗像先生
14日(木)	午後診療	宗像先生
22日(金)	午後診療	宗像先生
27日(水)	午後診療	宗像先生

木曜日午前診療は西堀先生です。

夏休みは8月8日～21日です